

活動速報はホームページに掲載しています <http://www.garan.ne.jp/ochi>



◀中丸小・建設工事安全祈願祭(1/15)

工事の入札が2度不調に終わったため、工事着工が遅れていましたが、ようやく本格工事に着手しました。



◀会派行政調査(2/24)

東京大学・柏キャンパスを訪問し、柏市と東京大学高齢社会総合研究機構および(独)都市再生機構の3者で進めている長寿社会に対応したまちづくりについて、先進事例を学びました。



◀鮭の稚魚放流(3/5)

東海ライオンズクラブ主催の稚魚放流に参加。照沼小の子どもたちと一緒に、新川に稚魚を放流し、自然や生命の大切さを体験しました。



(筆者) 大江 閑果さん(東海在住)

私は幼い頃から「劇団とみかる」というミュージカル団体で歌やダンスを楽しんでいます。

やったん祭やI-MOのまつりなどのイベントにも出演しているのですが、皆さんご存知ですか？キャストはもちろん、キャストを裏方で支えて下さるスタッフも随時募集しています！

越智さんは、いつもイベントを観に来て下さるので感謝しています。今後も、東海村にミュージカル文化が根付くよう元気に活動していきますので、皆さんも応援よろしくお願ひします。



編集後記

昭和57年、私が10歳のときに放送を開始したテレビ番組『笑っていいとも!』が3月末で放送を終了した。

国民的バラエティ番組だったからか、打ち切りの真意や後続番組の内容への関心高、さらには総理大臣が生出演するなど、大きな話題となった。

30年以上続いた長寿番組が終焉を迎えたが、放送開始からこの30年で私たちを取り巻く社会構造も大きく変化した。日本人女性の平均寿命は約7歳伸びて86.4歳、国内総生産GDPは6倍に増え、乗用車の世帯当たり普及台数は0.5から1.1台になるなど、国民生活は総じて豊かになったと言える。一方で、国の借金も100兆円から1000兆円まで膨らみ、生活保護世帯は75万世帯から160万世帯へと増加していった。

「いいとも!」と笑い飛ばせる時代ではなくなってしまったが、いつの時代も笑顔だけは大切にしたいものである。

(す)

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告



第25号

平成26年4月発行

発行人：越智たつや後援会
日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。
桜の便りは全国津々浦々まで届いていますが、好景気の余波は感じられぬまま、4月からの消費税引き上げが始まりました。地域経済や日々の暮らしへの影響が大変気になりますが、地方自治体としてできることは何か？

住民の声に耳を傾けながら、しっかりと活動していきます。

越智辰哉



平日・朝の竹瓦橋閉鎖を休止します

国道6号と245号との中間、久慈川に架かる留大橋(日立東海線の西側に生活道路として利用されている竹瓦橋)があります。

日立東海線が開通する以前は、竹瓦橋は生活道路でありながら交通量が多かったため、平成9年から平日朝の1時間に限り警備員による橋の閉鎖を実施し、久慈川以北の向竹瓦地区から橋を渡って小中学校へ通う児童・生徒の安全確保を図ってきました。

しかしながら、地域住民や学校等の関係者で協議した結果、対象となる児童が同時間帯に橋を利用しないこと等の理由から、平成26年度から橋の閉鎖事業を休止することとしました。

今後は、休止にともない通行車両が増加することが想定されるため、周辺地域における通学路の安全確保に努めるよう役場執行部に提言していきます。

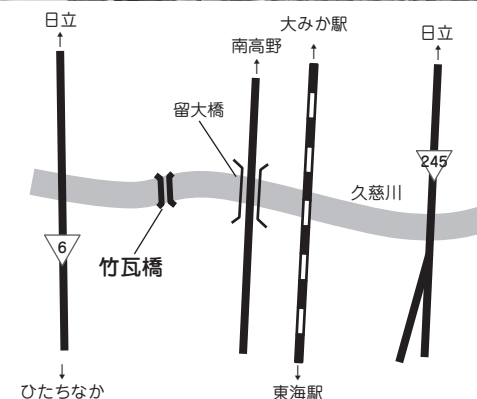
村政報告会のご案内

日時：平成26年5月10日(土)
17:30～19:00

場所：JA東海会館



※ どなたでも自由に参加できますので、どうぞお越し下さい。



一般会計224億円 過去最高規模の予算案を可決

平成26年3月定例会を、3月3日から3月26日までの会期で開きました。今議会では、予算特別委員会を設置し、平成26年度予算案を集中審議しました。なお、予算案を含め42件の議案については、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。



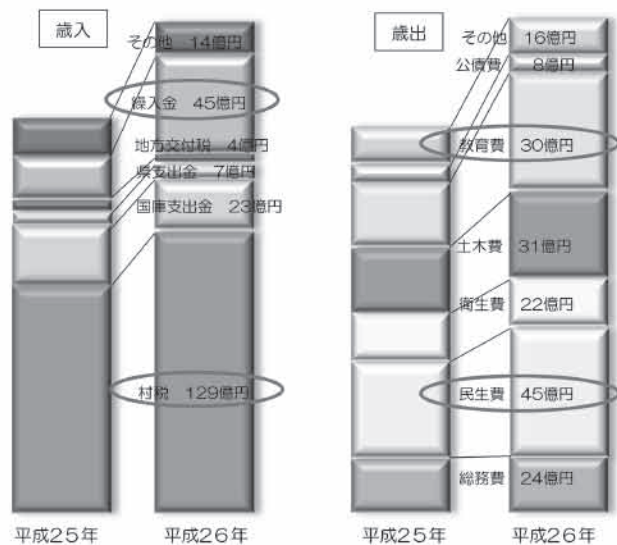
▲常陸那珂火力2号機の稼働により税収増が見込まれる

新年度予算の概要

平成26年度一般会計の予算規模は224.35億円で、前年度より約10億円増・当初予算としては過去最大規模の予算となりました。

歳入では、常陸那珂火力発電所2号機の稼働による大幅増(約20億円)のほか、村民税や村たばこ税等も前年度より増加の見込みです。また歳出では、東海中および中丸小の建て替えに加え、村松コミセンの西側に村松保育所と宿幼稚園の改築にともなう幼保連携施設を新たに整備する予定です。

歳入出総額224.35億円(対前年比48.12億円増加)



これらの大規模な建設工事の予算化により、歳出における教育費と民生費が大きく増加しました。

このように、平成26年度は大型の建築工事を並行して実施することから、安全確保と工事日程の遵守とを両立しながら事業を進める必要があります。また、従前から実施している高齢者福祉等の行政サービス対象者の増加にともない、財政的な負担が毎年増えている状況が継続しているため、予算全体としてさらなる効率的な行政運営に努める必要があります。

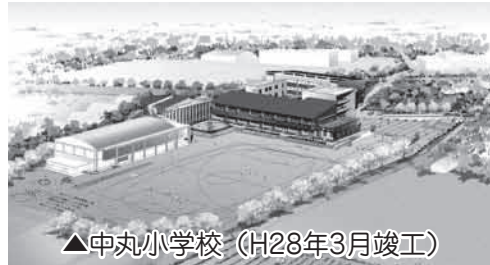
新年度の予算執行にあたっては、以上のような点に留意することを付け加えたうえで、予算案を可決しました。



▲幼保連携施設 (H26年12月竣工)



▲東海中学校 (H26年12月竣工)



▲中丸小学校 (H28年3月竣工)

これに注目!

平成26年度の 新規・重点事業

LED防犯灯設置事業(147万円)



現状の防犯灯2552基をリース契約によりLED化し、環境負荷軽減と経費節減を図ります。(契約期間は10年間、期間中の維持管理は事業者が実施、リース終了後の所有権は無償で村へ譲渡)

公共交通のあり方検討事業(483万円)



JR、路線バス、デマンドタクシーなど既存の公共交通の評価分析および利用ニーズの把握調査を実施。合わせて、新たな公共交通の実証実験(1ヶ月間、最大2ルート)を行い、検証します。

公衆インターネット接続ポイント設置事業(420万円)



コミセン等の公共施設に、インターネットの接続ポイントを設置し、災害時の情報通信環境の強化を図ると共に、平常時にも無料開放することで利便性向上を図ります。

経済状況調査事業(292万円)



東海第二原発が停止していることによる本村経済や商工業に与えている影響等を把握すると共に、調査結果の分析や活性化策の検討を実施します。

舟石川近隣公園整備事業(1億4,826万円)



緑の保全や地域の憩い場としてだけでなく、防災機能も含めた都市公園を駅西の区画整理地内に整備します。(面積:約12,000m²)

文教施設再整備事業(6,973万円)



老朽化した中央公民館に代わるプレハブ施設(2階建)を文化センターに併設し、現在の屋外トイレを移設することで利用者の安全確保と機能の複合化を図ります。

地域のじまんづくりプロジェクト補助(150万円)



観光協会や菓子店などが参加し、地産地消の促進や商業の活性化につながる村の特産品を活かした土産品の開発・販売するプロジェクトに対して補助を行います。

Point!

「議会活性化」の議論がスタート

地方分権の進展により、地方議会の責任・役割が大きくなる一方で、様々な慣習・慣例により議会のあり方が硬直化しているといわれています。そこで、全国の地方議会では議会改革や活性化の取り組みが行われています。

しかしながら、東海村議会では2008年に議員定数を2減して現在の20名とし、また議会質問に一问一答方式を導入して以降、議会運営の改善が行われていませんでした。

こうした状況に鑑み、今議会の最終日3/26に「議会活性化特別委員会」の設置を決定し、より住民にとって開かれた議会となるよう、今後の議会運営のあり方を改めて議論する運びとなりました。

越智議員は、同委員会の副委員長に就任したため、委員会での議論を積極的に牽引していくこととなります。